

平成30年度 第1回 学校運営協議会 会議録

日 時 平成30年5月18日（金）
13時30分～16時00分
場 所 千葉県立京葉高等学校大会議室

- 1 開会の言葉（教頭）
- 2 学校運営協議会委員委嘱（千葉県教育委員会）
- 3 県教育委員会あいさつ
（県教育庁教育振興部生涯学習課学校・家庭・地域連携室 主査）
- 4 委員紹介（自己紹介）
- 5 日程説明（事務局 教頭）
- 6 会長及び副会長の選出
- 7 協議
 - (1) 平成30年度 学校運営の基本方針について
校長から説明

【学校運営の基本方針の承認】
全会一致で承認される
〔意見〕
学校運営の基本方針5の「学校規模に応じた組織・システムの見直し」について、生徒が活動している部活動については、慎重に考えていただきたい。
 - (2) 学校運営協議会の組織について
教頭から校内の組織について説明
 - (3) 平成30年度事業計画（案）について
教頭から学校運営協議会に係る今年度の予定について説明
 - (4) 部会（3部会に分かれての協議）
地域連携部会，キャリア教育推進部会，小・中・高・大連携部会の3部会に分かれて協議

(5) 各部会からの報告

【地域連携部会】

昨年度の反省点を踏まえ、地域連携をさらに充実させるため、次の3つの議題について協議した。

- ①京葉高校が自ら地域にでていく活動を増やすため、どのような情報発信の工夫があるか。
 - ・本校で取組可能なボランティア活動を市の広報誌等に掲載できないか。
 - ・本校の活動を市民の方により多く知ってもらうため、市原市のホームページに本校ホームページへのリンクを張ってもらえないか。
- ②高齢者施設や福祉施設と交流できるものがあるか。
- ③校内の教育活動の成果をとおり、地域の方との交流ができないか。
 - ・校内で実施したAED講習等を受講した生徒や職員が、受講の成果を地域の方に伝えるような活動はどうか。
 - ・本校の囲碁部が地域の公民館で行われている囲碁サークルの方と交流するなどできないか。

【キャリア教育推進部会】

昨年度の反省点を踏まえ、地域との交流をさらに充実させるための議題について協議した。

- 地域と連携したインターンシップ等に関する取組について
 - ・昨年度は、市原市商工会議所との連携による取組を行い成果をあげた。今年度は、昨年度よりも多くの生徒が参加する予定である。
 - ・企業をよく知り、就職のミスマッチを防ぐため、今年度は、さらに地域で行われるインターンシップを活用し、地元企業への理解を深める取組を推進すべき。
 - ・千葉県や市原市以外の出身の教員も多いので、生徒だけでなく、教員も積極的に参加し、地元企業への理解を深め、キャリア教育に生かせる取り組みをしたらどうか。

【小・中・高・大連携部会】

冒頭、委員から、本校の取組について、よくやっているとの評価と今後も先細りしないようにしてほしいとの意見をいただいた。

- さらなる連携を深めるための取組について
 - ・文化系の部活動をさらに活性化させ、地域との連携を図ってほしい。
 - ・昨年度のいただいた御意見をもとに、本校校長が、中学校の校長会で小・中学校への出前授業について説明をしたが、それ以外の取組として、教務主任の研修会や研究主任の研修会で本校の取組を紹介したらどうか。
 - ・本校周辺の学校だけでなく、もう少しエリアを広げた活動ができるとよい。出前授業などは、県教育委員会のホームページに掲載されているが、本校の計画を紹介する文書を作成し、近隣の学校へ周知したらどうか。
 - ・小学校では外国語活動も始まったので、うまく高校の先生方と連携できるとよい。

- ・本校生徒が出身中学校・小学校に戻って交流することにより，地域の子供は地域で育てる一翼を担えるので，より一層連携を深めていくとよい。

8 事務連絡（教頭）

次回の学校運営協議会は10月12日金曜日午後に実施を予定している。

9 閉会の言葉（教頭）